

**開催日程
決定**

プログラム参加費用

- 一般 70,000 円/日
- 会員 63,000 円/日

主催：一般社団法人日本 TOC 協会
共催：TOC PRACTITIONERS ALLIANCE
場所：東京都新宿区西新宿7-2-4 新宿喜楓ビル7F
(ビーイング内セミナールーム)
対象：企業内 TOC推進活動 担当
定員：15名

このたび、日本TOC協会としてTOCアプリケーションのプラクティショナー（実践者）を育成するための教育プログラムを立ち上げることを決定いたしました。「Sharing Experience」をテーマに、世界中のTOCプラクティショナーが集うTOCPA*（TOC Practitioners Alliance）が提供するTOC Applications Practitioner Program**をベースに、国内のTOCシニアコンサルタントが培ってきた知見と融合させることで、より効果的なプログラムをご提供することが可能になりました。

*TOCPA：TOC practitioners Allianceは、TOCの実践者のために2011年に設立された非営利組織であり、国際的に活動を展開しています。TOCPAの目的は、参加メンバーに対して、知識を成長させ、自らの組織や顧客にTOCを導入する際に直面する課題や困難を解決する機会を提供することです。

**TOC Application Practitioner Program：複数のモジュールから構成される包括的な教育プログラムです。各モジュールにつき数日間のセッションから構成される約30日間の包括的教育プログラムです。全てのモジュールを受講した方が最終筆記試験に合格した場合、TOCPAスクールの国際認定資格が授与されます。また、実務上一部のモジュールに限定して受講される方に対しても、当該モジュールの受講認定書が発行されます。各モジュールでは、特定の領域におけるTOCの知識体系とメカニズムを習得していただくと共に、受講者が学習内容を実践（オペレーション、流通、プロジェクトマネジメント、営業&マーケティング、経営・業務改革等々）に活かしていただけるようインプリメンテーションにおける専門的な経験知も共有されます。受講者には、ソリューションならびにインプリメンテーションのためのガイドラインが詳細に記述された教材が提供されます。各モジュールでは、特定の問題を深く取り扱いながら、受講者とのインタラクティブなやり取りを前提としたセッションが進行されます。また、シミュレーターなどを使った実践的な問題演習、現実世界における経営的な意思決定等を取り扱います。

基本モジュール	所要日数	内容	オプション	所要日数	内容
Module1	2日間	制約マネジメント	Module6 (オプション)	2日間	スループット会計 経営的な意思決定
Module2	3日間+3日間	サプライチェーン MTO, MTA, PTA, DTAならび にデータ分析、モデリング	Module7 (オプション)	2日間	マーケティング&営業
Module3	2日間	プロジェクトマネジメント CCPM	Module8 (オプション)	2日間	小売ソリューション
Module4	4日間+2日間	思考プロセス	【認定について】 左記のモジュール1～5の受講後に筆記試験を実施します。 筆記試験合格後、TOCPAから認定書が発行されます。		
Module5	4日間	現状分析とS&T CRS: Current Reality Study			

基本プログラム（モジュール2&3）の開催日程が決まりました。詳しくは裏面（詳細およびお申込書）をご覧ください。

JTA/TOCPA JOINT SCHOOL

企業内エキスパート 育成プログラム TOC APPLICATIONS PRACTITIONER PROGRAM

*各日の受講時間は10:00~17:00となります。
*モジュール4~5の開催日程については、決まり次第お知らせします。

モジュール1「制約を通じたマネジメント」

(2日間: **2019年1月10日~11日**)

開催済み

モジュール2「サプライチェーン: MTO, MTA, PTA, DTAならびにデータ分析、モデリング」

(3日間: **2019年2月14日~16日** + 3日間: **2019年2月21日~23日**)

- ・サプライチェーンを管理するためのTOCの考え方について理解を深める
- ・生産管理の考え方と技法、様々に異なる生産フロー/環境においてそれらを適用した際の影響について(シミュレーターを用いた演習)
- ・MTO (Make to Order - 受注生産) の考え方とその解決策の詳細 - 8つのインジェクション、それぞれのエッセンスと仕組み
- ・MTOで用いる評価指標の重要課題、導入時における典型的な課題
- ・自社の生産計画/実行管理の現行のやり方とMTOの解決策の整合性を取る上での実務上の課題
- ・MTA (Make to Availability - 在庫生産) の考え方とその解決策の詳細 - 8つのインジェクション、それぞれのエッセンスと仕組み
- ・MTAで用いる評価指標の重要課題
- ・自社の生産計画/実行管理の現行のやり方とMTAの解決策の整合性を取る上での実務上の課題、在庫生産を行う様々な企業から得た重要な教訓、MTOとMTAの混合環境の取扱い
- ・生産フローにおける資材管理 - 解決策PTA (Purchase to Availability) とMTIA (Make to Internal Availability) のインジェクション
- ・TOC補充ソリューションの考え方と仕組み - DTA (Distribute to Availability) の10のインジェクション、エッセンスと仕組み
- ・異なる消費プロファイルに対して在庫バッファの目標レベルを計算する際の課題
- ・SKUの品揃えに関する意思決定 - キャッシュをキャパシティ制約に見立てる
- ・DTA (Distribution to Availability) の解決策を社外の下流リンクに展開する際の課題と潜在リスク、DTA導入において注意が必要なエリア
- ・MTAとDTAを結合する環境における導入の実務的課題
- ・演習と計算実習
- ・下流のディスクリビューションを管理する
- ・データ分析とモデリング

モジュール3「クリティカルチェーン・プロジェクトマネジメント: Project Management the TOC Way」

(2日間: **2019年4月3日~4日**)

- ・クリティカルチェーン・プロジェクトマネジメント (CCPM) の考え方と仕組み (メカニクス)。CCPM は従来のプロジェクト管理とどこが違うのか?
- ・価値創造のプロジェクト管理
- ・CCPMの9つのインジェクション - その本質と仕組み (メカニクス)。シミュレーションを使った演習
- ・CCPM導入における実務的問題 - CCPMと連携した会社の経営判断を実現する上での課題。
- ・プロジェクト予算と資金バッファの問題。

※モジュール3(2日間)は、TOCPAのオーデッド・コーエン氏によるセッション<英語(通訳なし)>です。予めご了承ください。

お申し込みはこちらから

https://japan-toc-association.org/events/seminar/TOC_applications_practitioner_program

当協会ウェブサイト内のお申し込み専用フォームからお願い致します。

JTA/TOCPA JOINT SCHOOL PROGRAM運営事務局

TEL : 03-6671-9353 Mail : info@japan-toc-association.org

住所 : 東京都新宿区西新宿7-2-4 新宿喜楓ビル7F



日本 TOC 協会

JAPAN TOC ASSOCIATION